

■米国：EDF、米国原子力発電所運営から撤退

2013年7月30日付の報道によれば、フランス電力会社（EDF）はシェールガスの低価格を受けて、コンステレーション・エナジー・ニュークリア・グループ（CENG）への出資を段階的に引き上げることで共同出資者のエクセロンと合意した。EDFは、保有するCENG株（49.99%）を2016年から2022年までに市場適正価格でエクセロンに売却する権利（プット・オプション）を得る。CENGは3発電所（ギネー、ナインマイル・ポイント、カルバート・クリフス：合計392.5万kW）を運転しているが、運転ライセンスは今後エクセロンに移され、EDFは4億ドルの特別配当を受け取る。CENGは2009年にEDFとコンステレーション・エナジー社が共同で設立した企業だが、2012年にエクセロンがコンステレーション・エナジー社を買収したため、EDFの現在のパートナーはエクセロンとなっている。